きょなん

町報　第422号
発行：鋸　南　町
編集：合併調整室
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

9
2003



「伝統の漁業、新造船へ引継ぐ」

鋸南町で最盛期には11隻あった大型サンマ船も、資源の減少に伴い、再編整備を経て、現在では第11長栄丸76ｔの1隻を残すのみとなりました。県南でも、鋸南・富浦・鴨川・小湊の4隻が伝統漁業であるサバ・サンマ漁を継続しています。長栄丸も建造後20年以上が経過し、老朽化が進んだことから、厳しい経営環境に対応するため、鋸南・富浦・鴨川の共同による安房サバ・サンマ漁業生産組合を平成14年12月に設立。

それに伴い鋸南町の唯一のサンマ船は新造船の竣工に合わせて廃船となります。房総が発祥の地とされるサンマ棒受網漁業の伝統は新たな次世代型漁船第一安房丸に引継がれていきます。



サンマ棒受網漁業の様子

第一安房丸の概要

◇さんま棒受網、火光利用さば、あじ・さんま棒受網漁船
◇全　　長　35.30m
◇全　　幅　6.10m
◇総トン数　99トン
◇最大速力　14.0ノット
◇航海速力　13.0ノット

きょなんフォトニュース



町報きょなん
2003年9月号

●フォトニュース
声のバトンタッチ
家庭教育通信　すくすく
健康通信
歴史資料館
わんぱく登場
生涯学習
B＆Gニュース
桜だより
あの子もこの子もきょなんの子

鋸南町の合併を考える懇談会



設置の経過

館山・安房9市町村合併協議会が発足して4か月。合併に向かっての事務事業の一元化が、法定協議会等で進められております。町民の中には、「合併したら、私たちの町はどう変わるのか」や「生活への影響について」等、合併に対して不安が見受けられます。そのような状況を踏まえ、町民の意思形成のための取組みの一環として、「市町村合併を考える懇談会」を立ち上げ、町内の団体代表に協議の内容を伝達しようとするものです。懇談会委員は20名に、法定協議会の6委員を顧問として、相互が懇談し、町民の意思形成に役立てようとするものです。



第1回懇談会の開催

第1回懇談会が8月11日に本庁2階委員会室において開催されました。懇談会の設置要領の説明後、正副委員長の互選を行い、委員長は平島孝一郎委員（議会関係）、副委員長には柴田栄樹委員（商工関係）に決まりました。事務局から合併協議会のこれまでの経過報告について説明。次回の懇談会から本格的に意見交換をしていく予定です。



市町村合併を考える懇談会名簿

委員長
平島孝一郎（議会関係）

副委員長
柴田　栄樹（商工関係）

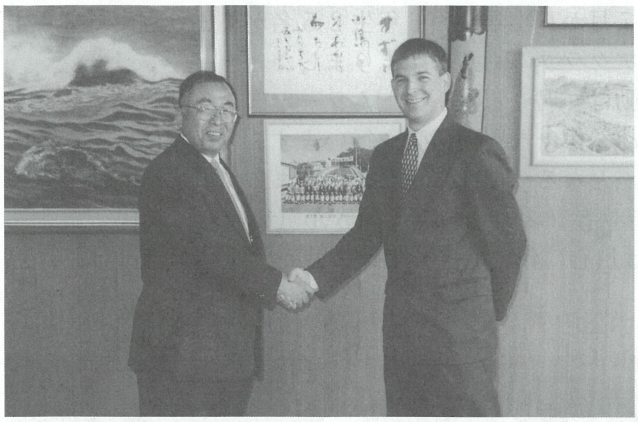
委員
笹生　正己（議会関係）
中村　豊（議会関係）
佐久間常夫（行政委員関係）
金木　芳夫（行政委員関係）
重田　晴源（行政委員関係）
鈴木　勝三（消防関係）
富永　洋雄（農業関係）
石井　久晴（農業関係）
柴田三喜男（水産関係）
小早川晶治（水産関係）
石崎　文英（観光関係）
今井　正雄（福祉関係）
石井　茅子（福祉関係）
松川　省吾（老人会関係）
笹生　卓義（教育関係）
山野井房江（教育関係）
富永美恵子（教育関係）
笹生　恭子（教育関係）

顧問
清水　信明（第2号委員）
金木　郁男（第2号委員）
青木源太郎（第3号委員）
安藤恵美子（第3号委員）
白石　治和（第1号委員）
横瀬　幸雄（第1号委員）

鋸南町のALT紹介

ウィルありがとう

3年間、鋸南町のALTとして町内の小中学校や公民館で英語の指導をしてきた、ウイリアム・スミス（通称ウィル）さんが、この7月に任期を終えアメリカに帰国しました。ウィルさんは熱心に英語の指導に当たり、小中学生はもちろんのこと、多くの町民に親しまれていました。また、日本文化をこよなく愛し、合気道や骨董品の収集など幅広い活動を行っていました。元々、音楽の専門家であり、様々な演奏会に出演して美しいサックスフォーンの調べで聞くものを魅了していました。



離日のあいさつをするウィルさん

ティムようこそ

ウィルさんの後任のALTのティモシー・アックスフォード（通称ティム）さんはイギリスから来町しました。この6月に大学を卒業したばかりの22歳の青年。大学では、航空宇宙工学を専攻していました。将来は航空機や車のエンジニアになるのが夢とのこと。

日本の印象については、古くからの伝統を残しながらも、新しいことを取り入れる、とても興味深い国とのこと。

志願理由の中でティムさんは、日本人と同じ生活をすることで、日本の文化を学び、スポーツ等を通じて交流が出来たらと考えているようです。

9月から町内の小中学校で英語の指導に当たり、「子供たちが楽しみながら英語を学ぶこと」が最も大切と考えており、そのための環境をつくりたいと話しています。趣味は、サッカー・テニスのスポーツのほか、吹奏楽では海外遠征の経験もあるそうです。



来日のあいさつをするティムさん

第56回安房郡民体育大会 総合第3位

第56回安房郡町民体育大会の全日程が終了し、郡内9町村の郡民が19種目にわたり競技を行いました。各会場において熱戦がくりひろげられ、鋸南町では体育協会を中心に、14種目に参加し、総合3位の成績を収めました。青木会長から抱負として、9月27・28日に開催される県民体育大会に鋸南町から33名の選手が出場を予定しており一致団結して頑張りたいと話しておりました。

各競技の結果は次のとおり。

バトミントン部	1位	弓道部	3位
ヨット部	2位	ソフトボール部	3位
相撲部	2位	剣道部	3位
水泳部		サッカー部	3位
男子3位		バスケットボール部	3位
女子3位		軟式野球部	5位
陸上部		ボウリング部	5位
男子3位		ゴルフ部	6位
女子2位			
バレーボール部			
男子3位			
女子2位			



7月27日・2位になった女子バレーボール部

鋸南町アウトドアクラブ
さぁ 冒険に出発だ!!

７月から小学４～６年生２５名が集まり鋸南町アウトドアクラブの活動が始まりました。
活動は「君も冒険王！トムソーヤになろう」とテーマを決め、様々な冒険活動を行います。夏休みには、活動の拠点となる「秘密基地」を作りました。本格的な小屋の建設ということもあり、本当に建てられるか不安でしたが、指導者（親方）の網代孝さん（大六）・網代智輝さん（大六）に教わり、釘袋に玄翁や曲尺を入れた小さな大工さんは熱心に作業を進めていました。今後の活動は、浮島渡りや、ビーチラインウォークなどが計画されています。


小屋を建てる位置や高さを正確に

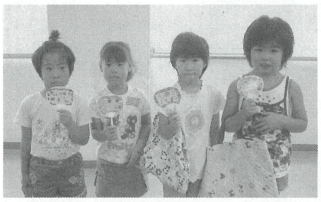

ノコギリは、大得意！


柱を入れています

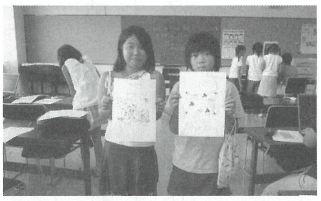


完　成

夏休み…公民館での…こどもたち…


わたしだけのうちわです

夏休みの公民館で「キッズパソコン教室」と「子ども料理教室」が開かれました。
キッズパソコン教室は三橋美子先生を講師に迎え、パソコンで日常使えるグッズを作ります。幼稚園年長から小学2年生のクラスではうちわ作り、楽々はがきというソフトを使ってそれぞれ個性的なミニうちわが完成しました。小学３・４年生のクラスはデジタルカメラで撮った自分の顔写真入りの名刺を作成。小学５・６年生のクラスは自分でデザインした図柄のフォルダーを作りました。どのクラスもパソコンに慣れてくるとにぎやかです。
創造力を発揮して、アンディー・ウォーホールもおどろくような愉快なアートが次々完成するのですから。


学校でも使えるフォルダー完成


包丁の先を押さえてトントントン

子ども料理教室は昨年から“自分で作れる簡単ランチ”をテーマに、保健福祉課の田沼寿美代管理栄養士の指導で町食生活改善推進員の皆さんにお手伝い頂き開催しています。今年はウインナーも手作りのホットドックとチーズinたまごスープ、フルーツでトロピカルサラダを作りました。何と言っても今回は包丁でみじん切り・千切りが登場するのですからスタッフは内心ハラハラです。だいじょ～ぶ。ゆっくりと“猫の手”でやれば怪我はしません。
今年もたまねぎに泣かされてしまいましたが、皆で作って一緒に食べると味も格別です。今度はお家の人と一緒に作ってみるといいですね。


おいしいね…満足

ボランティア日記

学童保育所「くじらクラブ」
代表　安藤恵美子

学童保育の支援と支援の為の諸行事に参加している総勢１１３名のボランティアグループです。平成12年10月1日に登録しました。普段は2名ぐらいのボランティアが、お手伝いしていますが、バザー・映画鑑賞・いちご狩りなどの時は、大勢のボランティアが参加します。特に夏休み中は、8時から18時まで、保田39名・勝山45名の学童が、虫取りや、プール遊び、どろだんご作り、お店屋さんごっこと多彩な遊びをくりひろげる中での、お手伝いは大変です。
現在では、子供達と遊ぶのに、牛乳パックなどの廃材がほしいとのことですので、ご協力をお願いします。


バザーの手伝いをするボランティアと子ども達

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（19）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①早いもので、北海道から館山・鋸南へと移り住んで３０年が経ちました。
最初の頃は、淋しくてなかなか馴染む事が出来ず、ホームシックにかかった事もありました。
子供を通じての友人に恵まれて、今ではすっかり馴染むことができ、楽しい日々を過ごしております。
５年前から介護の仕事につき、人生の先輩の方々のお世話をさせて頂いております。

②大変な仕事だねと良く言われますが、大変な事ばかりでは無く、お手伝いをして「ありがとう」と喜んで頂くことや、教わる事・学ぶ事が沢山あり、やりがいのある仕事だなあと日々感じております。

③２０２０年には、全人口の２５％が６５歳以上となり、超高齢化社会を目前にして、高齢者が生活しやすい環境を作って頂きたいと願っております。



稲葉　敬子さん（竜島区・介護支援）

次回は永井　亮子さん（本郷区）へバトンタッチされます。



富永　哲一さん（田町区・電気業）

①４年前に鋸南に戻り、家族・従業員と電気屋をしています。電気関係だけでなく、水道・ボイラー・お風呂やトイレの改修等もやらせて頂いていますので、毎日が勉強です。プライベートでは、小４から続けている剣道と野球をやっています。剣道は、子供達と楽しく続けていきたいと思っています。毎日、何かと忙しいですが、これからも色々とチャレンジをしていきたいと思います。

②普段から意識はしている事なのですが、今年に入り、私の中で改めて感じた事があります。それは、人と人との繋がりと思いやりです。多くの人々の協力があって出来る事の重要性を改めて勉強する機会に恵まれました。人を大事にこれからも活動していきたいと思います。

③合併に向けて、町政・仕事と不安ではありますが、若者から高齢の方までが住みやすい町である事を望みます。何年・何十年経った後でも、鋸南に住んでいて良かったと思える町にしていって欲しいと思います。

次回は本間　稚啓さん（本郷上区）へバトンタッチされます。

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

大関　幸麿さん（千葉市）　3万円　一般寄付
岩田　節江さん（千葉市）　5千円　一般寄付
高野　静生さん（東京都）　1千円　一般寄付

次の方から町社会福祉協議会へ善意のご寄付がありました。

石崎　政江さん（大帷子下）　5千円
福原　栄一さん（竜　島）10万円

魂を絵筆に、旅・人生・こころを描く

水村喜一郎の世界

2003年7月9日(水)～10月5日(日)
休館日・月曜日（祝日の場合は火曜日）

問い合わせ先　菱川師宣記念館　☎55―4061

家庭教育通信 すくすく NO.27

「子どもの心と健康づくり」
～心と体の健康は家庭から～

◇はじめに

今回は、七月に行われたコスモス学級のお話をご紹介いたします。講師に館山市立第一中学校の石井先生をお迎えし、お話を伺いました。

◇先生のお話

現代の子どもの体格をみると、身長や足の長さは伸びているが、筋力や持久力といった体力面は落ちているといったデータが出ています。その原因として考えられるのは、外で遊ぶ時間が少なくなってきていることがあげられます。子どもは体験することにより、いろいろなことを学んでいき、実際に体験して得たことは、本や人から教えてもらった知識とは違い、頭や体で学んでいく大切な経験です。（小学生の中には靴紐が結べない子もいるそうです。結ぶ経験のない子は結び方を知らない。）

○言葉で表現する（一言言葉）

今の子どもたちは、人とのコミュニケーションが苦手だと言われますが、保健室に来る子どもたちの言葉不足を感じます。「先生、足」「先生、痛い」などの言葉で相手に伝えようとする子が多い、足がどうしたのか。どこが痛いのか、伝えることが言葉のコミュニケーションです。家庭では、「お母さん○○」などで、お互いに通じ合えてしまうかもしれませんが、言葉が足りないことを伝えてあげなければいけません。

○我慢のできない子（キレル子）

我慢する心はどこで養われていくのでしょうか。小さい頃からのわがままに対する躾。また、良いこと、悪いことをしっかりと教えていくことが、必要な時に我慢のできる子に育っていくのではないかと思います。親も妥協を許さず、強い心で躾ていくことが大切です。（中学生や、大きくなってから、社会のルールを教えても、なかなか子どもの心に入っていきません）

○自信のない子ども

いつも否定ばかりされていると、自分に自信が持てなくなり、自信のない子に育ってしまいます。頑張った時、できなかったことができるようになった時など、誉めて、認めてあげることが必要です。このような経験を多くすることで、自信につながり、それに答えようと努力をしていきます。反対に人に比較ばかりされている子どもは、劣等感を持ったまま成長してしまいます。

○ストレス（心の健康）

ストレスにはメカニズムがあり、物事を前向きに考えることで、ストレスが軽減されます。前向きに考えることは、心と体の均整がとれストレスにならないそうです。

◇おわりに（家族の愛情）

小学生はもちろん、中学生でも家族の愛情を子どもは求めています。子どもにとって、心が安定し安心して元気に活動できる源は、家族の愛情です。子どもは家族の愛情を十分感じることで、心が安定し、心の成長につながっていきます。



（教育委員会　生涯学習係）

健康通信

「成年後見制度」

精神障害や、知的障害、痴呆症などで判断能力が不十分な方々は、財産管理や福祉サービスの利用契約、遺産分割などの法律行為を自分で行うことが困難だと考えられます。また、悪徳商法の被害にあう恐れもあります。成年後見制度とは、契約を本人に代わって行ったり（代理権）本人が誤った判断で契約をした場合はその契約を取り消すことができる（同意権・取消権）などの権限を、家庭裁判所が選任した補助人・保佐人・成年後見人・任意後見人等に与え、本人の生活状況に応じた保護や支援を行う制度です。

成年後見制度は、法定後見制度と任意後見制度の二つに別れます。法定後見制度は本人の判断能力が一定以下に低下した後に、その能力の程度や保護の範囲に応じて、三つの類型（補助・保佐・後見）に分けて保護する制度です。一方、任意後見制度は判断能力が低下した場合に備えて、本人があらかじめ任意後見人に指定した人と保護してもらう内容を定め、公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下した後に家庭裁判所が任意後見監督人を選任することで契約内容に応じた保護が開始される制度です。つまり法定後見制度は事後的な救済であるのに対し、任意後見制度は事前的な救済という性格を持っています。

成年後見人・保佐人・補助人は、本人の保護体制を充実させるために、家庭裁判所が適任者を選べるようにしています。そのうえ、成年後見人等を複数選んだり、法人を選ぶことも可能です。また成年後見人等を監督する成年後見監督人などが選任されることもあります。成年後見人などの権限及び任意後見契約の内容などを登記して公示する成年後見登記制度も開設されています。

成年後見の申し立ては、原則として、本人が住んでいるところの家庭裁判所で行います。申し立てができるのは、本人、本人の家族などです。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

●連載135

市井原の獅子舞・神楽舞

伝承された雨乞い神事

鋸南町無形民俗文化財に指定されている市井原の獅子舞神楽舞は、九月十五日の市井原の祭礼に、八幡神社に奉納されます。

黒塗りの獅子頭をかぶり、腹に羯鼓（軽い太鼓）をつけた三匹の獅子が踊る獅子舞は雨乞いの踊り。そして神楽舞は赤い大きな獅子頭をかぶった獅子が一匹、頭役、後役がついて踊ります。これは天の岩戸神話にもとづく神楽舞で太陽信仰の踊りです。

どちらも山里の農村に伝わる豊穣祈願の神事であり、貴重な民俗芸能です。



獅子舞

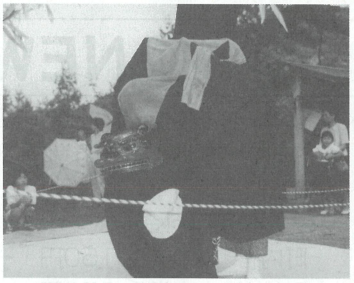
そもそも、このあたりでは昔から、日照りが続くと、雨乞い祈願として、峯上（富津市）の高宕観音へ水をもらいに行く風習がありました。屈強の若者数名が選ばれ、班に別れ、部落を出発。志駒、峯上と山越えし、竹筒に神水をもらい受け、リレーしながら疾走して戻ってくるのです。

もし、走者が腰をおろせばそこに雨が降ると言われたので、村に帰るまでは、皆必死でした。神水は神社に奉納した後、一滴づつ各耕地にまいたそうです。また神社には、雨乞いの獅子舞が奉納されていました。

他の保田地区、佐久間地区でも同様で、各村には雨乞いの獅子舞が以前は奉納されていたものです。しかし現在では、すたれて受け継ぐ者もなく途絶えてしまいました。各地区の公民館などには、昔の獅子頭、太鼓などが現在も残っている地区もあります。

市井原村の成り立ち

現在唯一残る市井原の獅子舞も、かつて一時途絶えていましたが、戦後有志により復活し、現在まで区をあげて保存伝承に努めています。



神楽舞

獅子舞の時に歌われるコイコイ節には、江戸時代の代官支配だった頃の市井原村の様子がうかがえます。殿様の山から桜の木を切って来てしまった村人が、見つかって捕らえられ、江戸へ護送されていくといった内容が数え唄で歌われます。踊る三匹獅子とはあまり関係ないのですが。

もともと市井原村は戦国時代も終わり、武士が帰農して隠遁した村だと言われ、草分けの家は、源氏や里見氏にゆかりの子孫だと伝わります。

かつては獅子舞の他にも、農民武術である棒術も奉納されていたようで、やはり武士の血を引く村と言えるようです。

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］

生涯学習 みんなで学ぼう

「ビーズアクセサリー教室」



ビーズを落とさないように…

公民館では、８月からビーズアクセサリー教室を開催しています。

初回は３㎜から８㎜のチェコファイアポリッシュという種類のビーズを使って、立体感のある指輪を作りました。講師は、昨年度デコパージュ教室の指導をしてくださった郡山美智代先生（千葉市在住）です。

㎜単位という小さな材料と細いテグスを使っての作業は大変ですが、キラキラ光るビーズの魅力は少女の頃と一つも変わらず、参加者達になつかしい時代を思い出させてくれたようです。

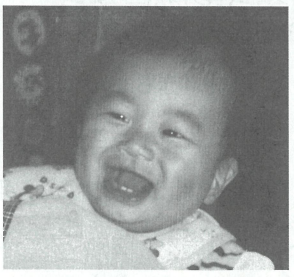
教室は１１月までの６回で、携帯ストラップやネックレスなど６種のアクセサリーを制作する予定です。２回目は人気のスワロフスキーの指輪に挑戦するとあって、皆わくわくしています。



ほ〜ら、自分の指にピッタリ

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



賢吾（けんご）くん（7か月）
〔柴本隆太さん　第1子　竜島〕

みどりご学級に行き始めた頃はなぜか昼寝の時間と重なってしまい寝てばかり。あのにぎやかなところでぐっすり眠れるなんて大物と保健師さんに太鼓判をもらったよ。でも最近はみんなといると楽しくて昼寝なんかしてる場合じゃないって。僕にもかわいいママにもたくさんお友達ができるといいなぁ。

桜だより

～苗木の縛り目の点検を～

これまでに河津桜の苗木を植栽された皆さん、苗木の様子はいかがですか？

おそらく苗木の幹は高くなり枝に青々と葉をつけ、順調に成長していることでしょう。

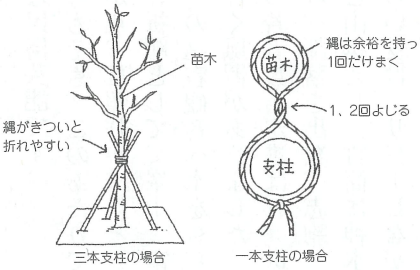
以前にもお話しましたが、桜は6月から8月にかけて枝や樹高を著しく成長させます。同時に葉を繁らせ盛んに光合成を行ない、成長に必要な栄養分を作り出しています。そしてこの栄養分を使って9月から10月にかけて急速に幹を太らせます。

ですからこの時期、必ず支柱と苗木の幹を固定している縄の縛り具合を点検してください。というのは、幹が縄できつく締めつけられている場合、幹が急速に太ることによって縄が幹に食い込んでいることが心配されるからです。

これを放置することは、人が首を閉められているのと同じ状態で、幹が太れないばかりか縄目のところでくびれてしまい、最悪、幹の途中で折れてしまうこともあります。もし縄がきつくなっている場合は、必ず縄を縛り直してください。

苗木を1本の支柱で固定している場合、幹に縄を何重にも巻く必要はありません。縄を幹に1回だけ巻いて、今後も幹が太れるよう、支柱と幹の間で1、2回よじって、縄と幹に隙間ができる程度に縛り直しましょう。

また、三本の支柱で苗木を固定している場合は、前述の弊害に加えて、強風の際に縛った場所だけに力が集中することから、そこで折れてしまうこともあるので、縄がきつくなっている場合は、やはり縄を緩めてください。また、冬場に1本支柱にしてもいいかもしれません。



B&G NEWS

◇**温水プール開館時間**　10時～21時
12時～13時及び17時～18時は休憩

◇**休館日**　月曜日

◇**プール使用料金**
町内者　小中学生 150円・一般 300円
町外者　小中学生 250円・一般 450円



《鋸南町B＆G海洋センター水泳教室紹介～その一～》

☆選手コース・選手育成コース☆

練習日・時間　…　火曜日　18：30～20：00　週2回
金曜日　19：30～21：00　1回1時間半

対　象　者　…　小学生・中学生

練習内容　…　4種目の総合練習を行い、泳法の習得と記録の向上を目指します。

＊3000mほどの練習を行える体力があり、4種目が泳げることが望ましい。泳ぐことが好きなこと。

◇**お問い合わせは**　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411まで

あの子もこの子もきょなんの子　おめでとう

（6月25日から8月25日迄の届け分）

赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆佐々木美空（みく）ちゃん	平成15年6月25日	洋之・忍さん（第2子）	竜島	女の子らしく元気に育ってネ
☆猪帆乃夏（ほのか）ちゃん	平成15年7月25日	慎司・美和さん（第1子）	町	丈夫で明るい子に育ってね
☆鈴木陽向（ひなた）くん	平成15年7月30日	清和・めぐみさん（第1子）	上佐久間	明るく元気に育ってね
☆畠山萌衣（めい）ちゃん	平成15年8月8日	和広・めぐみさん（第2子）	両向	元気に育ってね



※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります

◇合併調整室広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数　3,710世帯（＋5）「＋28」

人　口　10,434人　（－13）「－112」
うち男　5,011人　（－6）「－52」
女　5,423人　（－7）「－60」

8月1日現在　（前月比）「前年同月比」

編集後記

「町報きょなん」をご愛読いただきありがとうございます。平成15年度から見返り美人ふるさとまつりなどのイベントが無くなり、8月の記事をどうするかと思った矢先、安房丸の竣工式があると聞いて一安心。サバ・サンマ船は減船が進み、23年ぶりの新造船とあって近代的な装備を施してあり、今後の活躍が期待されます。合併については「市町村合併を考える懇談会」が設置され、多くの情報を記事にしたいと考えています。（K）